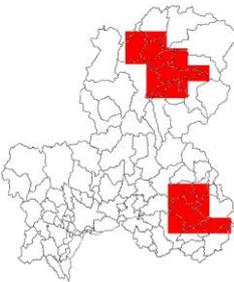


ヒゲシバ	<i>Sporobolus japonicus</i> (Steud.) Maxim. ex Rendle	絶滅危惧Ⅱ類
		イネ科
選定理由	確実な自生地は2ヶ所しかなく、個体数も少ない。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	稈は直立し、高さ10-25cm。葉身は長さ2-7cm、幅2-4mmで狭披針形、へりには多くの腺点とまばらに基部のふくらんだ長毛が生える。花序は直立し、長さ1.5-6cm、小穂は長さ約2mmで微小。	
生態的特徴	イネ科の1年草。花期は8-10月。山間の湿地、日当たりのよいやや湿った半裸地、ウシクサ・カリマタガヤなどの生育する草地や湿地に見られる。	
分布状況	本州から九州に分布し、朝鮮、中国大陸に分布する。岐阜県では、県北部と県南東部で稀に見られる。	
減少要因	本種の生育する湿潤で高茎草本のない日当たりのよい草地は、遷移により消失しやすい。適度な攪乱によって環境が維持されているような草地や湿地の減少。	
保全対策	自生地の保全のためには適度な攪乱が必要である。林道の整備など土地改変の際には注意が必要。	
特記事項		
参考文献	原色日本植物図鑑・草本編Ⅲ 保育社 1964 日本の野生植物草本Ⅰ 単子葉類 平凡社 1982 増補日本イネ科植物図譜 平凡社 1993	

文責:福岡義洋